



国際シンポジウム

産業界との連携による実践的教育の新たなカタチ

—Agribusiness 教育プログラムの可能性—

近年、農業の体質強化、国際化（TPPなど）が叫ばれているなか、日本の農業には抜本的な改革が迫られています。和歌山・関西圏においても農業の生き残りをかけた農業の活性化および農業を中心とする複合産業化（第1次産業である農業に加え、加工（2次産業）、流通（3次産業）を複合化した新たな産業）を促進する必要があるといわれています。また、国際的な視野から農業ビジネスを考える必要があります。日本にいながらにして、海外も含んだ異分野とのネットワーク形成の機会および農業を中心とする複合産業を協力・サポートする新しい教育体制を早急につくる必要性があります。

そこで、和歌山大学経済学部はフランス人経営学者、リアンドロ氏をお招きし、世界的視座からのアグリビジネスの日本での展開、教育、そして将来の可能性について考えるシンポジウムを企画いたしました。和歌山県内で実践する農業者や学生なども交えたパネルディスカッションも企画しております。奮ってご参加ください。

<講演>

『2014年 New ビジネスの可能性と実践的教育の必要性について ～海外におけるアグリビジネスの事例をふまえながら～』

講演者 Growth Phases LLC 最高経営責任者（CEO）Leandro De Sa 氏

※講演は英語で行われます（通訳あり）

<パネルディスカッション>

『アグリビジネスと高等教育機関との連携の可能性』



リアンドロ氏 (Leandro De Sa)
Growth Phases LLC 最高経営責任者 (CEO)
[プロフィール]

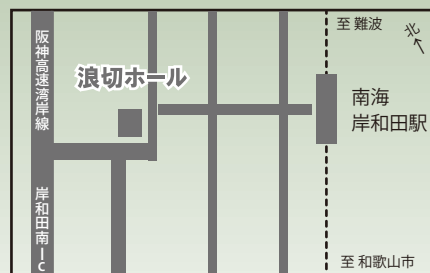
1987年仏グルノーブル大学物理学博士号を取得し、1999年シカゴ大学ビジネススクール卒業 (MBA 取得)。現在は、新規ビジネス立ち上げや企業の長期的成長に関する研究を行っている。オーストラリア、アメリカ、フランス、中国にてビジネススクールプログラムを提供し、世界的なネットワークを有する経営者でもある。現在、経営コンサルティング会社の CEO を勤める傍ら、仏トゥールーズ大学のビジネススクールの客員教授も務めている。

日時 平成26年 3月 16日 日 14:00-17:00

会場 岸和田市立浪切ホール特別会議室

入場料 無料 (事前申し込みが必要です)

詳細は裏面をご覧ください



岸和田市港緑町 1-1
南海本線「岸和田」駅から徒歩 10分

国際シンポジウム

産業界との連携による実践的教育の新たなカタチ

—Agribusiness 教育プログラムの可能性—

日 時：平成26年3月16日(日) 14:00～17:00 (受付開始13:30～)

場 所：岸和田市立浪切ホール特別会議室

プログラム

開会挨拶

講演 (60分)

『2014年 New ビジネスの可能性と実践的教育の必要性について

～海外におけるアグリビジネスの事例をふまえながら～』

Leandro De Sa 氏 (Growth Phases LLC 最高経営責任者 (CEO))

小休憩

パネルディスカッション (90分)

『アグリビジネスと高等教育機関との連携の可能性』

コーディネータ：足立基浩

(和歌山大学経済学部教授・和歌山大学アグリビジネススクールプロジェクト推進室長)

パネリスト：Leandro De Sa 氏

河村能夫氏 (京都府立農業大学校校長・龍谷大学名誉教授)

児玉典男氏 (紀州 観音山フルーツガーデン

農業生産法人 有限会社柑香園 代表取締役会長)

大学生農業サークル「アグリコ」のメンバー (学生代表)

閉会挨拶

お申込み・お問い合わせ

下記の事項をご記入の上、3月7日(金)までにメールもしくはファックスでお申込みください。

和歌山大学アグリビジネススクールプロジェクト推進室

E-mail：ogrri@eco.wakayama-u.ac.jp

fax： 073-457-7630

tel： 073-457-7643

お名前	所属(役職)	年代 歳代	性別 男・女
住所 〒	連絡先(携帯など)		

※このお申込み情報は本シンポジウム開催の目的以外では使用いたしません。